

## 令和8年度 事業計画(案)について

能登半島地震より3年目に入り、石川県内の観光再生(支援)事業は、震災からの復興段階や地域に応じて、段階的かつ多角的な支援が展開されています。能登地区(輪島市、珠洲市、七尾市、能登町、志賀町、穴水町など)では、インフラの復旧状況を見極めつつ、「段階的な関係人口の拡大」と「現地の消費を直接潤す仕組み」に重点が置かれています。本年3月に入り、「今行ける能登」(団体旅行)応援キャンペーンがスタートし、7月まで、能登応援割が本格実施されるまでの「繋ぎ」の施策として、団体旅行をターゲットにした強力な需要喚起が行われています。

金沢市以南のエリアでは、「北陸エリア全体の観光需要の回復」と「能登への観光ハブとしての機能強化」が求められています。又、国内OTAや航空会社などのプラットフォームが、石川県内の対象施設で使える独自クーポンやキャンペーンを継続実施されています。

また、北陸新幹線の敦賀延伸に伴い、「加賀温泉駅～金沢駅」間の利用者を対象とした宿泊キャンペーンや、小松空港・能登空港を利用した旅行者へのキャッシュバック・商品券付与キャンペーンなども段階的に実施され、県内を広く周遊してもらう仕掛けも進んでいます。

ご周知の通り、山代温泉では、昨年は開湯1300年の節目を迎え、様々な記念事業がオール山代体制で実施されました。この実績を踏まえ、「しあわせを湧かして」という情緒と温もりに満ちたコピーを土台にしつつ、街全体を「湯あがりどころ」(緩む・涼む・潤う・続く)として再定義する新たなコンセプトを設定し、地域ブランディングにおいて強力かつ連続性のあるアプローチで、今後、具体的なプロダクトや施策へ展開することを目指します。

### 1 組織

(1) 会員数 152会員(団体含む。)

(2) 役員数(構成)

|     |      |     |     |      |        |
|-----|------|-----|-----|------|--------|
| 会 長 | 1名、  | 副会長 | 3名、 | 専務理事 | 1名、    |
| 理 事 | 16名、 | 監 事 | 3名  |      | 計 24 名 |

(3) 正副部長会

|      |     |       |     |      |      |
|------|-----|-------|-----|------|------|
| 会 長  | 1名、 | 副会長   | 3名、 | 専務理事 | 1名、  |
| 担当部長 | 2名、 | 担当副部長 | 5名  |      | 計12名 |

(4) 事務局組織

|    |    |     |    |        |    |                  |
|----|----|-----|----|--------|----|------------------|
| 会長 | —— | 副会長 | —— | 事務局長   | —— | 局員3名(旅館協同組合職員兼務) |
|    |    |     |    | 専務理事   |    |                  |
|    |    |     |    | 2 事業部長 |    |                  |

|         |              |                        |
|---------|--------------|------------------------|
| (5) 諸会議 | 通常(会員)総会     | 年1回(臨時総会については必要に応じ開催。) |
|         | 理事会(拡大正副部長会) | 年2～3回開催                |
|         | 正副部長会(執行部会)  | 毎月開催(及び必要に応じ開催。)       |
|         | 事業部会         | 事業毎に開催(プロモーション・コンテンツ)  |

※ 必要に応じ、委員会等を設け事業推進に当たる。

## 2 総務部 関係事業

- ◆「山代温泉中期ビジョン計画 2023-2030」のアクションプラン策定を推進すると共に、昨年の開湯 1300 年記念事業の成果を土台とし、以下 3 つの基本行動をスタートさせます。

「独自の魅力・価値の創出」、「強化すべきコンテンツづくり」、「抱えている真の課題に向けた行動」

- 2030 年のゴールとキャッチコピーの策定を検討し、2030 年に見込まれる『温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録』に照準を合わせ、山代温泉の価値を発信していきます。

キャッチコピー策定にむけては、

- ・歴史の継承:「1300 年の歴史・温泉文化が息づく、受け継ぐ、山代温泉」
- ・温泉の効能:「温泉に浸かって整う、上がってほどける山代温泉」
- ・時間の価値:「本物の余白・静寂、いいね！よりいい時間を過ごす山代温泉」
- ・自然と癒やし:「四季・自然・神を感じ、心と身体を癒やす山代温泉」

といったテーマを持ち、今後の展望(マスタープラン構築)に向け、「湯の曲輪と古総湯」を核とし、住民の日常と来訪客の非日常が交差する“山代温泉体験”を街全体のデザインとして、再構築します。小さな成功事例づくりから、最終的には包括した「山代温泉マスタープラン」のつなげ、持続可能な街づくりを実現していきます。

- (1)開湯1300年記念事業の総括を土台に次のステージへ

▽5つの専門委員会と関係団体等との連携事業の成果・評価

- ・実行委員会の解散と既存組織への機能移転
- ・全事業の評価・継承
- ・デジタル発信基盤の構築とプロモーション成果
- ・山代ブランドの可視化と景観・文化の継承
- ・商店街イベント再構築
- ・今後の具体的な対応事項(理念浸透・記念事業)
- ・次期マスタープラン検討会への接続(1300 年記念事業コピーから、湯上りどころをテーマにした街全体を貫く新しいコンセプトの設定を検討していく。)

- (2)山代温泉マスタープランの策定に向けて

▽検討会(策定会議)の開催

- ・12/26、1/30、2/28、3/28、4/27、...

▽検討会参加メンバーを対象(協会正副部長会)に

アンケート調査を実施(4/6)

- ・設問内容:現状分析に係る事項2問、  
共通認識づくり事項2問

▽コンセプト、プロダクトづくりにむけて(たたき台案)

▽参考資料:山代温泉中期ビジョン2023-2030

ユネスコ無形文化遺産登録「温泉文化」

廃業旅館の利活用(令和ビジョン・ガーデン展望台プラン)

温泉通り景観整備準備会の活動

- ◆ 国土交通省・観光庁

□観光立国推進基本計画(2026 年 3 月 27 日更新)

平成 19 年 1 月に施行された観光立国推進基本法の規定に基づき、観光立国の実現に関する基本的な計画として新たな「観光立国推進基本計画」が閣議決定されました(令和8年3月 27 日閣議決定)。この基本計画においては、観光が地域経済・日本経済の発展をリードする戦略産業であるとの認識のもと、日本の魅力・活力を次世代にも持続的に継承・発展させていく観光

の実現に向けて、「観光の持続的な発展」「消費額拡大」「地方誘客促進」「観光と交通・まちづくりとの連携強化」「新技術の活用・本格展開」を施策の方向性として、観光政策を推進する。

○計画期間 令和8年度(2026)から令和12年度(2030)かでの5年間

#### (1) 基本的な方針と主な施策

観光を、地域経済や日本経済の発展をリードする戦略産業と位置づけた上で、以下の柱に基づく取組を推進します。

- i. インバウンドの戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立（地方誘客の推進を通じたオーバーツーリズム対策の強化 等）
- ii. 国内交流・アウトバウンド拡大（休暇の分散・旅行需要の平準化などによる国内交流拡大、パスポート手数料の引下げなどによるアウトバウンド拡大 等）
- iii. 観光地・観光産業の強靱化（観光DX・観光人材の確保の推進、様々な国・地域への戦略的な訪日プロモーションの実施 等）



観光立国推進基本計画

#### □観光地域づくりのための支援メニュー（関係府省庁）

観光を通じた地域の活性化を図るためには、観光関係者のみならず、地域住民も含めた地域の幅広い関係者が連携し、「住んでよし、訪れてよし」の魅力ある地域づくりを実践していくことが不可欠です。

観光地域づくりに取り組んでいる関係者で活用出来ます。



地域づくりの為に支援メニュー集

#### ◆関係団体との連携

北陸広域観光推進協議会、北陸観光協会、石川県・(公社)石川県観光連盟、加賀地域連携推進会議(オール加賀会議)、小松空港協議会、加賀市・(一社)加賀市観光交流機構、加賀温泉郷協議会、(株)まちづくり加賀、はじめ温泉地内各種団体との連携を推進し、「北陸路のハブ温泉」を標榜し、更なる地域交流・観光振興を目指し、魅力ある観光圏の形成を構築し山代温泉の魅力・個性の深化を進める。

観光客が安心して快適に過ごせる環境整備、地域住民との交流を深め、オール山代で取り組むことを目指していきます。ユニバーサルデザインの導入や、地域の魅力の再発見、磨き上げそして、観光客と住民が共に楽しめるような交流プログラムの実施などを通し、より多くの来訪客が加賀市山代温泉の魅力に触れて頂いただき、地域活性化を進めます。

#### □北陸三県、石川県エリアの各機関との連携(重点主要施策の概要)

##### (1) (公社)石川県観光交流機構、石川県

##### ▽観光振興事業計画(事業規模:48,495千円)

##### ①「今行ける能登」への誘客促進及び能登の本格的誘客再開に向けた取り組み

- ・団体旅行応援キャンペーンの活用 PR
- ・実施期間 3月～7月31日

##### i. 石川県観光公式ウェブサイト「ほっと石川旅ねっと」での能登の特集記事の充実能登

- の復興状況に応じた情報発信や復興支援ツアー向けコンテンツの造成
- ii. 修学旅行誘致に向けた震災学習プログラムの造成
  - 語り部の育成や、学校・旅行会社関係者によるモニターツアーの実施
- ②多彩な文化資源を最大限に活用した「文化観光」の推進
  - i. いしかわ文化観光スペシャルガイドの育成・利用促進 本県の文化の価値をわかりやすく伝える専門ガイドのスキル向上
- ③観光情報の発信
  - i. 石川県観光公式ウェブサイト「ほっと石川旅ねっと」や SNS での情報発信
  - ii. 観光マップ・ガイドブックの作成・配布
    - ・総合パンフレット「ほっと石川まるごと観光マップ」
    - ・初めての観光客向け「ちょっと石川」
    - ・リピーター観光客向け「もっと石川」
    - ・鉄道・バス・タクシーを活用した周遊観光客向け「ぐるっと石川」
    - ・電動アシスト自転車を活用した周遊観光客向け「くるっと石川」(デジタル版)
  - iii. 観光案内所の運営
    - ・能登の旅情報センター(のと里山空港内)
- ④観光地域づくりの推進
  - i. 専門委員会の開催
    - 5 つの専門委員会の設置により、観光石川の伸展に向けた意見等を集約し、県等に対し施策提案するとともに、行政や関係団体との連携強化を図る取り組みなどを実施
  - ii. 観光地域づくり戦略会議の開催
    - 特定観光地の課題解決に向けて関係者で構成する「観光地域づくり戦略会議」を開催し、必要な施策立案に向けた調査・検討を行い、専門委員会に提案
  - iii. 優良観光土産品の推奨
    - 観光土産品の開発や品質向上、販売支援
  - iv. 観光功労者、優良観光従事者の表彰
    - 長年にわたり地域の観光振興に貢献され、他の模範となる方の表彰
  - v. 旅館産業の育成
    - 旅館産業等の育成等に取り組む団体などに対する助成

経費負担: 令和 8 年度計画(単位: 千円)

| 総事業費   | 財 源 内 訳 |        |        |
|--------|---------|--------|--------|
|        | 市町      | 石川県    | 団体     |
| 48,495 | 3,324   | 32,571 | 12,600 |

▽観光キャンペーン事業計画(事業規模: 271,516 千円)

- ①観光 DX の推進
  - i. 観光客データの収集・分析による戦略的誘客の推進
    - 宿泊・体験等の予約・購入が可能なデジタルマップを活用した観光客データの収集、個々の観光客の属性や興味関心に応じたきめ細かな情報発信
  - ii. デジタルマーケティングを活用した観光情報の発信 ビッグデータを活用した観光客の旅行形態等に応じた観光情報の発信
- ②北陸新幹線県内全線開業の効果を活かした誘客キャンペーン

- i. JRと北陸三県連携による通年誘客キャンペーンの展開
  - ii. 首都圏等からの誘客促進
    - 日本最大級の旅行博「ツーリズム EXPO ジャパン」への出展や、百貨店における観光物産展を活用した情報発信
  - iii. 関西圏・中京圏からの誘客促進
    - 県内宿泊旅行者に対する能登の特産品プレゼントキャンペーンの実施や、NEXCO 中日本と連携したマイカー旅行者への観光情報の発信
  - iv. アニメなどのコンテンツを活用した誘客促進
    - 本県が舞台となったアニメとタイアップした県内周遊企画の実施
- ③能登・加賀・金沢の観光魅力アップ事業
- 地域ならではの魅力の磨き上げや、誘客イベントの開催を通じて、能登・加賀・金沢地域の魅力アップを図り、広域周遊を促進

経費負担：令和 8 年度計画(単位：千円)

| 総事業費    | 財 源 内 訳 |         |       |
|---------|---------|---------|-------|
|         | 市町      | 石川県     | 団体    |
| 271,516 | 30,725  | 237,462 | 3,329 |

▽連盟“デジタルマップ”の周知&活用促進

- ・先行して「能登」「金沢」では運用スタート済。
- ・観光名所、宿泊施設、土産店等情報、予約、決済(除く、大手旅行会社と契約している施設)がスマートフォン一つ地図上から検索できる。

▽加賀温泉郷“宿泊統計ダッシュボード”の周知&参画旅館施設の推進

- ・過去の観光データから数か月先の観光動向等を予測。料金設定や仕入れ・人員配置の判断材料として。情報・経営メリット、地域づくりへ活用
- ・運用開始      令和 8 年秋～

□加賀温泉旅館等誘客促進事業実行委員会(事業規模：27,000 千円)

▽白山白川郷ホワイトロード宿泊者片道無料キャンペーンの実施

- ①実施期間      6 月 12 日～11 月上旬
- ②事業費拠出      石川県 60%、加賀市等 20%、参画旅館 10%、協会 10%
- ③情報発信事業      チラシ、ポスター、バナー、WEB サイト、SNS、雑誌、ツアー造成、旅行会社・交通事業者への PR 等

□北陸新幹線建設促進石川県民会議

□小松空港協議会(石川県企画振興部空港企画課)

▽小松空港をハブとした観光客等の需要喚起、利用者促進を図るため、福井県、航空会社等と連携し、首都圏はじめ就航路線の活性化を促進する。

- ・委員、幹事の出自

□加賀地域連携推進会議(オール加賀会議)との連携(事業規模：4,836 万円)

▽各種誘客促進、ガイドブック発刊、県外出向宣伝等の実施



- 速旅 ようこそ加賀の國ドライブプランの実施(7月15日～12月25日)
  - ・高速道路料金割引+地域商品券@3,000
- おいでよそばせ加賀の國 旅っちゃ(7月15～12月25日)
  - ・南条&草津サービスエリアで地域商品券クーポン入りガチャを販売
- るるぶ加賀の國(日本語・英語)改訂発行
- ツーリズムEXPO、アンテナショップ等
- メディア(TV、WEB、紙)向け情報発信、Instagram配信 他
- ▽賑わい交流イベントの実施支援(各市町のまちづくり・魅力向上)
- ▽加賀の國温泉協議会への助成
  - ①OTAと連携した誘客策の実施(前期＝リクルートじゃらん・後期)
  - ②マスメディアを活用した情報発信

□越前加賀インバウンド推進機構

- ▽観光情報発信、誘客プロモーション、インバウンドセミナー等の連携・周知等

□北陸観光協会・北陸広域観光推進協議会

- ▽北陸誘客促進会議(JR3 社営業部長会議)実施
- ▽冬の北陸美食フェア実施
- ▽北陸経済連合会、環白山広域観光推進協議会等との連携

◆加賀市、市内、温泉地内の各機関、団体等との連携

□加賀市(産業部観光課)、(一社)加賀市観光交流機構

- ▽温泉地魅力創出・情報発信の助成、温泉地景観整備・維持管理事業の支援活用
- ▽「押し活」をキーワードとした加賀エリア観光誘客事業
  - (ラブライブ！蓮ノ空女学院スクールアイドルクラブ コラボ企画)
  - ・実施期間 8月1日～11月1日

▽MICE(主催者)支援の周知

- ・板橋区フレンドシップ加賀の更新

▽加賀市観光振興審議会

▽加賀温泉郷ウォーク 2026 の協力

▽加賀市重点対策加速化事業(木質バイオマス発電設備)の周知

▽加賀市ふるさと納税、旅先納税活用周知

▽南加賀道路建設促進期成同盟会

▽国道8号線加賀あわら間整備促進期成同盟会 他

▽加賀市観光交流機構

- ・ツーリズムEXPOジャパン 2026 への出展
- ・商品クーポンリニューアル検討
- ・情報発信ツールの活用検討
- ・DMO、DMC のダブルエンジン構築にむけた観光再生
- ・観光庁支援事業を活用した及び体制整備・機能強化実現に向けた活動推進

□加賀温泉郷協議会

□温泉駅情報センターの運営(KAGA 旅まちネット)

□(株)まちづくり加賀との連携

- ▽キャンバスを活用した南加賀エリア及び小松空港線の2次交通システム構築・推進
- ▽加賀手ぶらで GO！(手荷物配送企画)の利用促進

□加賀商工会議所

▽各業界との情報共有、連携祖屈伸

□九谷焼体験ギャラリーCOCO の運営

□温泉地内関係団体等

地域住民と連携し、地域の強み(温泉、食、歴史、工芸等)を再発掘、磨き上げ、特別なストーリー付け、パッケージ化(高付加価値)等を目指す。

小さい成功事例を共有し、住民・産業双方のウェルビーイング(幸福や健康)向上に努める。「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な観光まちづくりを中心に据え、住民を観光の『主体』として巻き込む取組みを推進する。

(1)山代温泉まちづくり推進協議会「拡大役員会」

(2)観光的施設、商業団体

▽山代温泉商工振興会・商店街

▽古総湯等(山代温泉財産区管理会)

▽はづちを楽堂(特定非営利法人はづちを)

▽九谷焼窯跡展示館(加賀市九谷陶磁器協同組合)

・古田屋伝右衛門顕彰会

▽魯山人寓居跡いろは草庵(加賀市総合サービス)

▽いっふくや((一社)you・湯・友)

(3)各種実行委員会、商業団体等が実施するイベント等

▽菖蒲湯まつり実行委員会

▽YAMASHIRO アートマーケット実行委員会

(4)その他

▽県市地元が共同で実施した景観整備エリアの景観維持管理事業

▽セミナー、人材育成の推進

▽協賛、後援、推薦事業

### 3. プロモーション事業部

山代温泉らしい魅力を今一度見直し、今まで発信できていなかった魅力や新しい魅力を広く知って頂けるように情報発信をし、誘客に努めます。

WEBやSNS・メディア・OTAを含む旅行会社など様々なチャネルを活用し、北陸新幹線の延伸効果を最大限に取り込むべく沿線からの誘客や、増え続けるインバウンド客の取り込みを図ります。

#### ◆メディア対策

- ・SNS対策 前年度に引き続き、SNS（インスタグラム・X）を活用したSNS展開を実施
- ・新聞広告等への広告出稿を見直し、適切な広告展開を行う。

#### ◆インバウンド対策

- ・外国人観光客向けメディアへの情報発信  
ジャパンガイドの記事活用を継続検討
- ・VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2026 への参加等で海外とのパイヤーとの商談を通じ誘客を図る

#### ◆ポスター・パンフ制作

- ・あいうえおマップの定期更新 春夏版（Vol. 13）4月更新  
秋冬版（Vol. 14）9月更新予定
- その他印刷物も適時増刷・更新を行う。

#### ◆誘致対策

- ・OTA（じゃらんnet・楽天トラベル等）との連携による施策や旅行会社・行政等が展開するキャンペーンやPR事業と連携し誘客促進に努める。  
VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2026（東京都）の出展を検討
- ・金沢の観光案内事業者等との連携を検討

#### ◆その他

- ・前年度運用したデジタルクーポン事業について継続を検討する。



#### 4. コンテンツ事業部

山代温泉のシンボルである古総湯を中心に、温泉街ならではの歴史や文化に触れながら楽しめる街歩きの魅力向上に取り組んでまいります。古総湯から薬王院温泉寺や萬松園エリア、昨年オープンした「あいうえおの杜」へとつながる回遊ルートを活用し、訪れる人が山代温泉の歴史や自然、文化を体感できる環境づくりを進めます。

また、薬王院温泉寺の「萬松園八十八ヶ所めぐり」や開湯 1300 年の歴史、古くから受け継がれてきた湯治文化など、山代温泉ならではの地域資源を活かした魅力発信を行うとともに、街なかの商店や飲食店、体験施設との連携を強化し、温泉街全体を楽しみながら巡ることができる仕組みづくりを進めてまいります。

さらに、デジタルスタンプラリーや周遊企画などを活用し、観光客の滞在時間の延長と地域内消費の促進を図るとともに、地域住民と観光客が自然に交流できる機会を創出し、温泉街全体の賑わいにつなげてまいります。古総湯を核として、山代温泉ならではの体験価値を創出し、「歩いて楽しめる温泉地」としての魅力向上を図ります。

地域の事業者や住民との連携を深めながら、温泉街全体の回遊性向上と持続的な賑わい創出を目指し、山代温泉のさらなる発展につながる事業を推進してまいります。本年はプロモーション事業部と連携し、温泉をテーマに国内外へ多面的な情報発信を展開し、動画や SNS、体験型コンテンツを活用した歴史・食・温泉・人の魅力を一貫したストーリーで発信する企画や、多言語対応の強化や情報提供体制の整備を進め、インバウンド誘客の質的向上の取り組みについて進める所存です。

#### 【令和 8 年イベントスケジュール】

8 月 8 日(土)、9 日(日) 第 27 回山代大田楽 加賀市文化会館カモノホール  
 8 月 7 日(金)～8 月 16 日(日) やましろ夏まつり 温泉通り (いっぶくや前～きんしん跡地)  
 11 月 15 日(日) 予定 やましろカニまつり 湯の曲輪および はづちを楽堂内  
 ＊イベント開催については効果を検証し、持続可能な内容を絞り込み実施する。



会場：加賀市文化会館 カモノホール  
 時間：16 時～17 時 30 分 (予定)  
 <入場チケット> 全席指定席  
 SS 席 2,500 円 / S 席 2,200 円 / F 席 1,000 円

【予約申込 受付中】



期間：8 月 7 日(金)～16 日(日)  
 会場：温泉通り (いっぶくや前)  
 時間：20 時～21 時 30 分